

# Fitness Industry Association

## NEWS

FIA  
Fitness  
Industry  
Association  
of Japan

発行:(一社)日本フィットネス産業協会  
TEL.03-5207-6107  
FAX.03-5207-6108  
E-mail. info@fia.or.jp  
http://www.fia.or.jp

Topics

トピックス

### FIA 賀詞交歓会開催

1月29日(金)、東京・弘済会館にて毎年恒例となるFIA賀詞交歓会が開催された。当日は小雨が降る肌寒い天気にも関わらず、各社の代表など約200名ものの方々が集まり、久々の再会や意見交換などを行った。賀詞交歓会に先立っては「クラブマネジメント技能検定(仮称)説明会」も行われ、今年スタートする新しい取り組みに、真剣に耳を傾けた。

賀詞交歓会でのご挨拶要旨をご紹介します。(文責・編集部)

田中富美明FIA会長は開会ご挨拶で、「近年、いろいろなメディアで“健康”や“運動”などのキーワードが毎日聞かれ、関心の高まりを感じています。一方我々を取り巻く課題もあります。日本の人口動態は変化し、少子高齢化はどんどん進みます。提供するサービスを変えていく必要がある一方で、提供側の担い手の数は減少してゆきます。また、LGBTや外トウ、高齢疾患の問題など、これからは“多様性”の認知と対応ということも重要になると思います。こうした課題に対し、積極的にIT等も活用しながら、取り組んで行く時代であると思います」

このように述べ、FIAとしてもできる限り、会員各位へのサポ



田中富美明会長

ートをしていく姿勢であることを伝えた。増える高齢者に向けて新しいサービスを創出していくことはもちろん、外国人など、多様な人々に気持ちよくご利用頂ける施設への対応は急務といえる。

続いてご来賓の経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業課ヘルスケア産業研究官、仁賀建夫氏様よりご挨拶頂いた。「ヘルスケア産業課はヘルスケア産業の振興を目的に2011年に設立されました。同産業におけるフィットネス産業は非常に重要な位置を占めますので、今後も成長を期待しています。我々は2014年に『グレーゾーン解消制度』を



仁賀建夫氏

づくり、その第一弾として、医師の処方箋に基づいた運動指導を取り上げました。同様に皆さんが活動しやすい場をつくるのが我々の大きなテーマでもありますので、今後もぜひこの制度を利用し、新しいビジネスを創出していただきたいと思っております」

と話されさらに、健康分野において重要となるエビデンスについて、世界的にもデータが十分ではない課題を踏まえ、「エビデンスの収集に励み、それに基づいたサービスを展開することによって、より付加価値を高めていただきたい」とも語り、引き続き産業振興を図っていくことを表明された。

続いて、2015年10月に発足した文部科学省スポーツ庁健康スポーツ課課長井上仁様からもご来賓としてご挨拶頂いた。スポーツ庁は賀詞交歓会へは初参加となる。「これまで、文部科学省ではスポーツ振興に努めてきました

が、新たに鈴木大地氏を長官に迎えてスポーツ庁が発足したことにより、これからはスポーツを通じた健康増進やスポーツビジネスなどの新興にも幅を広げ、積極的に施策を打ってゆきたいと考えています。2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、国民のスポーツに対する意識も高まっていくことと思います。このムーブメントを健康意識へとつなげていくためにも、ぜひ皆さんにもご協力いただけたらと思います」

同庁では、まずスポーツに無関心の方にいかにスポーツに触れてもらう機会を提供するか、検討を重ねているところだという。

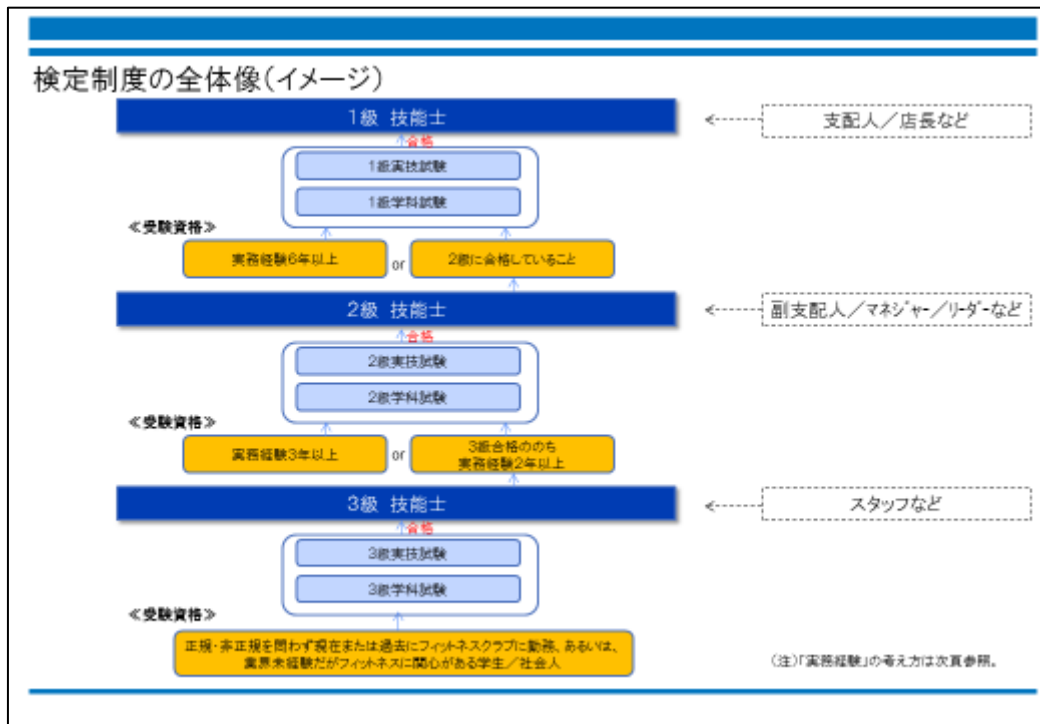


井上 仁氏

◆『クラブマネジメント技能検定(仮称)』

賀詞交換会に先立ち行われた『スポーツ・フィットネスマネジメント(仮称)技能検定』には、約100名が参加。概要については昨年のFIAニュース12月号でも簡単に紹介したが、ここでは具体的な出題イメージと、今後のスケジュールなどについて紹介する。

実施される検定制度は次の3つ。社員やアルバイトのほか、フィットネス業界に関心をもつ学生も受験できる。



実際に試験をスタートさせるにあたって、FIAでは今までに2回の実践を想定した試行試験を実施した。受験者から回収した詳細なアンケート結果から、学科試験の難易度については各級において想定した難易度感にほぼ近い結果を得ることができた。特に1級および2級は相当の職務経験がないと対応が困難な出題を前提としたが、平均的には「難しい」、「やや難しい」への回答が大半であり、これも想定した難易度感の範囲に収まった。

<1級出題イメージ>

**検定試験 実技試験の出題イメージ (※あくまでも想定イメージです。)**

**1級**  
下記の事例について、店舗支配人の立場で問1～問5に答えなさい。

Aフィットネスクラブ(以下A)は、開業して10年目を迎える。Aのオーナーは地元の企業家で自社土地の一部にAクラブを建てた。立地はB市住宅街の幹線道路沿いにあり、近隣の駅からは徒歩15分程度。施設はジム50坪、スタジオ50坪、プール25m×13mが1つ、ロッカーは男女それぞれ150個、子供用男女50個。温浴施設はなくシャワー室は男女各7台設置。駐車場には乗用車が30台駐車可能。現在の会員数はフィットネスクラブ1500人(男女比4:6)、スイミングスクール500人(子供のみ)。営業時間は朝10時～夜10時。スイミングスクール(以下スクール)は火曜日～金曜日の昼間のみ開催。

2年前、A店から直線距離1km、駅から徒歩5分のところに、温浴施設付、プール2面(1面は25m、1面は15m)スタジオ2つ、ジム70坪、30台分の駐車場をもつC大型フィットネスクラブ(以下C)がオープンした。スイミングスクールは開催していない。

また、昨年、駅前にスタジオ型女性のためのDフィットネスクラブ(以下D)がオープンしている。

B市の人口は増加傾向にあるが、2年前から、Aの会員数は減少傾向にある。但し、スクールはB市人口と比例して増加傾向にある。

問1 A、C、Dについてのポジショニングマップを作成しなさい。  
問2 Aのフィットネス会員減少について、対策立案に必要な分析項目を3つ上げよ。  
問3 Aについて、SWOT分析表を作成せよ。  
問4 問1のポジショニング、問3のSWOT分析から会員数増加策の仮説を立てよ。  
問5 問4の仮説実現をより強固にするための投資項目について3つ上げよ。

## &lt;2級出題イメージ&gt;

**検定試験 実技試験の出題イメージ** (※あくまでも想定イメージです。)

**2級**  
以下の事例について、質問に答えなさい。

Aフィットネスクラブ(以下A店)は、スタジオ・プール・ジム・温浴の各施設のある複合大型のフィットネスクラブ。年中無休で営業時間は月曜日～金曜日が午前10時～午後22時。在籍会員数は3000名。会員の構成は以下の通り。

月間の平均総退会率は3.5%となっている。年齢別の退会率は同じくらいとなっている。利用回数は60歳以上の方はその他の年代の1.5倍程度になっている。

年齢別構成比 10代 2%、20代10%、30代20%、40代10%、50代15%、60代30%、70代以上13%。

月間平日(月曜日～金曜日\*土日祝祭日は除く)利用者総数は12,000人であり、平日の時間帯別の入館者比率は、午前中35%、午後5時まで25%、18時台10%、19時台15%、20時以降15%。

上記データを参考に以下の次の質問に答えよ

問1 現状の会員数を維持するには、月間平均入会数は何名以上必要か。  
問2 総退会率を下げるために有効であると思われる方策を3つ述べよ。

## &lt;3級出題イメージ&gt;

**検定試験 実技試験の出題イメージ** (※あくまでも想定イメージです。)

**3級**  
以下の事例について、質問に答えなさい。

運営事務に関する次の記述について正しいものには○、誤っているものには×をつけよ。

ア 入館時の支払をクレジットカードで行われるお客様に対して、退館時までクレジットカードをお預かりして精算し、返却した。

イ 一昨日に会員が来館していたかについて、会員の知人なる方から問い合わせがあったので、氏名を確認の上、教えた。

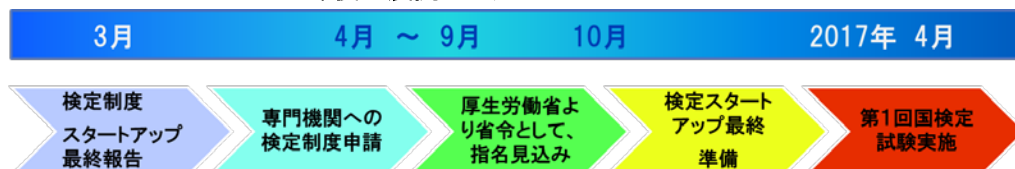
ウ クラブに納品された商品について、請求書の発行を要請されたので、先方指定のフォーマットに自分の印鑑を押して渡した。

エ 支払伝票に欠番があったので、印刷された番号を訂正して連番に書き直して保管した。

オ 整理整頓は各自が積極的に行うことが大切であり、書類が机上や棚の外にでている場合には、一人であってもそれらを棚の中に片付けることが望ましい。

さて、本格的な実施に向けてのスケジュールであるが、まだ確定されてはいないが、おおよそは以下のようなスケジュールを想定している。来年度に入って直ぐに厚生労働省へ国家技能検定として正式申請を行い、同年中に省令として正式指名を受けられるよう、確実な準備を進める。そして、平成29年度のできるだけ早い段階で、第一回の検定試験の実施を目指したい。

## &lt;今後の展開とスケジュール&gt;



本検定に関しては、今後の進捗状況を定期的に会員の皆さまには共有を図っていく予定である。

## Information

## お知らせ

## 1. FIAセミナーのお知らせ

## (1) FIAクラブマネージメントセミナー 2016 in 関西

平成28年3月15日(火) ベイコム総合体育館(尼崎市)

&lt;セミナー概要&gt;

①10:30~12:30

「ヘルスケアマーケティング・コミュニケーション講座」

講師: 西根 英一氏

ヘルスケアビジネス設計士・マツキャンヘルスコミュニケーションズ最高知識責任者

“フィットネスに関心の向かない生活者に対し、どのように“健康づくり”を啓発し継続へと導くか。”

②13:15~14:00

「スポーツ・フィットネスクラブマネージャー技能検定の国家検定化に向けてのFIAの取り組み」

講師: 松村 剛 (一社)日本フィットネス産業協会 事務局長  
FIAが構築中の「スポーツ・フィットネスクラブマネージメント技能検定(仮称)」制度の概要ご説明と、検定制度整備が各社と業界にもたらすメリットについて解説。

③14:10~14:30 大塚製薬(セミナー特別協賛)プレゼンテーション

④14:50~16:50 「女性顧客を呼び戻し、定着化を図る各社取り組み」

事業として取り組んだ顧客定着に関連する調査結果、並びに現在最終的に国家技能検定化を目指して構築中の『スポーツ・フィットネスクラブマネージメント技能検定(仮称)』制度について触れる。

②14:40~15:10

大塚製薬(セミナー特別協賛)プレゼンテーション

③15:10~17:10

「会員数増! 売上高増! 利益増! の実践講座

フィットネスクラブ経営 3大戦略セミナー」

講師: 田村 真二 ウェルネスビス株式会社 代表取締役  
数多くのフィットネスクラブ・スタジオを業績向上に導いた、健康ビジネスコンサルタントの田村真二氏が、「会員数増! 売上高増! 利益増!」の3大戦略を大公開!セミナー詳細案内は <http://www.fia.or.jp/act/seminar/> を参照

## 2. FIA マスターズスイミング選手権大会 2016

平成28年2月20日(土)21日(日)

千葉県国際総合水泳場(習志野市)

参加予定 424チーム 2142名

詳細案内は以下URLをご確認ください。

[http://www.fia.or.jp/act/event/masters\\_champ\\_2016\\_2nd/](http://www.fia.or.jp/act/event/masters_champ_2016_2nd/)

## 3. FIA 正会員アンケートについて

FIAでは、クラブにおける「入れ墨・性同一性障害・加齢疾患」への対応について、正会員の皆様アンケートをお願い致しました。(回答期限1月末日)

現在約半数のクラブより回答をお送り頂き、集計と参考資料を会員の皆様へお届けする予定で作業を進めています。

(回答未送付の方も可能な範囲でご協力頂きますよう改めてお願い申し上げます。)

〔パネリスト〕

グンゼスポーツ(株) 営業企画部マーケティング戦略室室長

山中 博樹氏

(株)ルネサンス

新業態推進部長

荻田 雅彦氏

(株)ジェイアール東日本スポーツ

フィットネス事業部 営業企画副部長

唐津 大輔氏

(株)東急スポーツオアシス

ブランドコミュニケーション部ゼネラルマネージャー  
片岡 康幸氏

〔進行〕(一社)日本フィットネス産業協会 事務局長 松村 剛  
フィットネスクラブにおける若い世代の獲得と定着化は、極めて重要な課題。

中でも女性顧客は、美やヘルスケアという点にも関心が高く潜在顧客が多い。女性顧客の潜在需要を掘り起し、定着化を図る積極果敢な取り組みを各社の事例を通して掘り下げる。

## (2)九州スポーツクラブ協議会主催FIA共催セミナー

平成28年2月28日(日) 西鉄イン福岡(福岡市天神)

&lt;セミナー概要&gt;

①13:00~14:30

「フィットネス・スポーツクラブが顧客定着のために今一度見直すべきサービス提供を考える」

講師: 松村 剛 (一社)日本フィットネス産業協会 事務局長  
クラブの魅力はまだまだ引き出せるはず。様々な顧客ニーズに合ったフィットネスを提案できる場所こそがフィットネスクラブであるべき。その有意性を主に対人サービスの見直しによる強化にスポットをあて一緒に考えたい。今年度FIAが調査研究

## Member's Board

## 会員掲示板

正会員コナミススポーツクラブからの情報発信です。

FIA正会員企業である 株式会社コナミススポーツクラブが協賛する『KONAMI OPEN 2016 水泳競技大会』が2016年2月20日(土)~21日(日)、東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)にて開催されます。(入場無料)

32回目を迎える本大会は、小学生から日本代表選手までが同じ舞台で競うことができる国内有数の水泳大会で、4月の日本選手権におけるリオデジャネイロオリンピック日本代表争いの前哨戦となる非常に重要な大会と位置付けられています。

オリンピックメダリストなど日本を代表するトップスイマーの熱いレースが期待されますので、会場(入場無料)では是非直接ご覧ください。また、本大会は2月21日(日)午後4時~6時にBS朝日(BSデジタル放送 5チャンネル)で放送されます。こちらも是非ご期待ください。

なお、大会の概要等の詳細につきましてはこちら「<http://www.konamiopen.jp/>」をご参照ください。



Member's Board

会員掲示板

◆株式会社デザート(賛助会員)◆  
「デザートフィットネスラウンジ 目白 椿の坂」  
リニューアルオープン

株式会社デザートは、2006年に女性専用のフィットネススタジオとしてオープンした「目白 椿の坂スタジオ」を、年代や性別を問わず、多くの皆さまの健康づくりに貢献できる「デザートフィットネスラウンジ 目白 椿の坂」として、2015年11月にリニューアルオープンいたしました。NESTA JAPAN(ネス タジャパン/全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会)と連携し健康で、幸せで、楽しいライフスタイルを提案するため、新たにトレーニングマシンも導入し、バラエティ豊かなプログラムを展開いたします。

JR山手線目白駅徒歩1分という好立地もあり、以前から男性の方からの施設利用への要望も多く、今回のリニューアルに至りました。バレエやダンスなど今まで人気のあったプログラムも継続しながら、ハワイアンエクササイズやキッズヒップホップなど新たなプログラムも追加。さらに、施設の面積も約1.5倍に広げ、新たに設置したトレーニングマシンを使ったエクササイズも行うことができます。また、施設内には、テイクアウトのコーヒーショップ「ハワイアンコーヒーショップ アヌヘア」も併設し、リラックスした雰囲気の中で運動し、寛げる空間を目指しています。

今回のリニューアルにより、1週間あたりのプログラムは従来の倍である約50に増えました。さらに、幅広い層に向けてバリエーション豊かなプログラムを展開し、心も身体も健康な毎日をサポートする施設を目指してまいります。

【概要】

スタジオ名 : デザートフィットネスラウンジ 目白 椿の坂

オープン日 : 2015年11月11日(水)

住所 : 〒171-8580 東京都豊島区目白1-4-8

(株式会社デザート 東京オフィスビル内)

電話番号 : 03-6907-7260

ホームページ : <http://www.fitnesslounge.jp>

面積 : 約300㎡(事務所スペース含む)

営業時間 : 月曜日 17:00~22:00

火~土曜日 9:00~22:00

日曜日 9:00~17:00

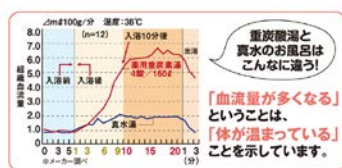
定休日 : 年末年始などをのぞく不定休



Associate members

賛助会員紹介

株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット



お湯と重炭酸泉の皮膚表面比較



お湯足湯・炭酸泉足湯  
皮膚表面温度比較画像



企業PR

株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレットは、血流や体温を上げることで免疫力を上げ、人の健康寿命の延伸を目指した会社です。従来になかった高機能入浴剤「薬用重炭酸湯ホットタブ」は、健康、美容、介護、そしてアスリートリカバリーなどスポーツ業界まで幅広く展開が可能と考えています。

主要商品・サービス

もう入浴剤とはいわせない!

紫綬褒章受賞の特許技術採用「薬用ホットタブ重炭酸湯」

当社がご案内する重炭酸入浴やシャワー療法は副交感神経を優位にし、血流や体温が上がることでぐっすり眠れ、心身疲労を緩和し、ストレスから解放されることで自己治癒力を高める効果が期待できます。古い角質やミネラル汚れが取れることで、ニオイまで洗浄できると健康業界や美容業界だけでなく、アスリート業界などでも評判です。

- 医薬部外品の薬用重炭酸イオン入浴剤です。
- プロスポーツ選手や芸能人にも愛用されています。  
※湘南ベルマーレや、大地真央さん、北川景子さんなど
- 世界初の国際特許技術で商品化に成功しました。
- 信頼性の高いエビデンスデータが揃っています。
- 高いリピート率のため、御社の商品売上に貢献します。  
※成功事例あり

「薬用重炭酸湯ホットタブ」は委託にての販売が可能です。また、PB・OEMでのオリジナル商品の対応も可能です。無料サンプルと資料をお送りさせていただきますので、メールかお電話にて担当者までお問い合わせください。

会社概要

会社名/株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット  
代表者/代表取締役 小星重治  
所在地/東京都新宿区西新宿8-14-18 シミズビル7F  
担当者/安達 未来  
連絡先/TEL:080-3746-1584  
e-mail/ [adachi@hacom.jp](mailto:adachi@hacom.jp)  
URL/ <http://tansan-tablet.com/>

## The Pulse



The PulseはIHRSAのアジア版ニュースレターです。日本語版はIHRSAとの提携に基づき、FIA(一社)日本フィットネス産業協会より、一部抜粋して会員の皆さまへ配信しております。

### 年齢の高い顧客層は、涼しい季節にクラブ利用が活発な傾向にある

アメリカにおける2014年の春夏と、2014年と2015年の秋冬を合わせて、クラブ会員数は、6.130万人から6.350万人に増加した。

その中でも、高齢者においては、秋と冬に入会する人が多い傾向を示している。

アメリカにおいては、この年、半年間でおおよそ述べ7.300万人がフィットネスクラブに来院した。

この数は、1987年以降IHRSAがクラブ利用状況のリサーチトラッキングを開始して以来、最高の数字を示している。

過去にさかのぼる調査の歴史が示す通り、来るべき新年をより健康で快適な状態で迎えるためにも、身体活動量を増やそうという決意のコンシューマーが、秋と冬の期間に増えるのです。

2016年冬版のIHRSAヘルスクラブ消費者レポートによると、高齢者のクラブ利用に関して、秋と冬のシーズンにおいては平均より16日多く利用しているという結果が報告されている。

また、25歳から34歳までの層の顧客が、2014年の10月から2015年の3月までの間にクラブを利用した回数の平均が47日であったのに対し、同一期間において55歳から64歳の層の顧客の来院日数は72日であった。

レポートは、高齢者がクラブアメニティーと、世代的に共に成長してきた神器である、レジスタンスマシン、エアロバイク、そしてトレッドミルを積極的に利用することも示している。

“高齢者が、クラブに設置されているマシンに引きつけられる傾向にあるにもかかわらず、クラブによって提供されるプログラムにも頻繁に参加しています。”と、IHRSAシニアリサーチマネージャーのメリッサ・ロドリゲスが補足している。

こうした傾向にも対応するべく、クラブオペレーターは最新のエクササイズ機器のラインナップを維持し続けることに加えて、クラブオペレーターは、健康体重を維持し続けるというゴールに結びつくようなワークショップや、柔軟性を高める、あるいは筋力向上を助長するワークショップを提供するようなことにも注力すると良い。

ミレニアル世代は、過去のどの世代と比較しても、より一層、フィットネスクラブから遠ざかる世代といえるだろう。

実は、1,000万人の非会員の利用者がフィットネスセンターやジムに足を運んでいます。

さらには、秋冬のジム来場者数増を牽引するのは、主に男性であるということも、示しておきたい。

(翻訳: 松村 剛)

## Issue

## 記事

### グンゼ、八幡市にスポーツクラブ開業へ

グンゼは今春にスポーツクラブを京都府八幡市に開業すると発表した。八幡市はベッドタウンとして開発が進み、需要が見込めると判断した。投資額は約7億円で延べ床面積は約3,575平方メートルになる見込み。

グンゼは子会社を通じ、国内でスポーツクラブを18店運営している。今後は海外出店なども含めて2020年までに25店に拡大する計画だ。

八幡市のスポーツクラブはジムのほかプールや露天風呂なども併設する。ホットヨガの専門施設など新たなサービスも検討する。子ども向けの水泳教室など、スクール事業にも力を入れ幅広い世代の需要に応える考えだ。

(2016.1.5 日本経済)

### 集団検診から運動指導、神奈川・大磯町、東海大などと連携、「未病」普及で健康増進

神奈川県大磯町は集団検診結果を使い、生活習慣病などの恐れがある住民に運動を促す重点指導を始めた。東海大や医療器具メーカーのアルケアと連携し、運動機能を測定し老化度をチェック、足腰の衰えなどで要介護状態などになるロコモティブシンドローム(ロコモ、運動器症候群)を防ぐ。県の未病対策とも連動して、介護が不要な健康寿命の延長につなげる。

(2016.1.6 日本経済)

### セントラルクリニックグループ

#### —健康管理、名大病院と連携

セントラルクリニックグループは4月、JR名古屋駅前に完成した超高層の大名古屋ビルディングにクリニックを新設する。診断結果を名古屋大学医学部付属病院に提供し、処方プランを提供するサービスを打ち出す。セントラルグループが、同意を得た患者の健診データを名大病院に提供する。名大病院は、蓄積してきたデータやノウハウにもとづいて認知症や脳卒中、心筋梗塞などのリスクを判断。リスクの高さに応じ、食事での適切なカロリー・塩分量や、運動、睡眠、リラクゼーションを含めた「処方プラン」をつくってアドバイスし、疾病予防につなげる。

(2016.1.7 日経産業)

### グンゼ、肌着で姿勢を測定 NECと共同開発

グンゼは6日、ウェアラブル端末が付いた機能性肌着をNECと開発したと発表した。ニットの技術を使い肌着の背中に導電性の繊維を編み込んだ。猫背になつたりすると端末から流した微力な電流の流れ方で変化を検知する。主にスポーツクラブに提供。姿勢の矯正などに役立ててもらう。

ウェアラブル端末付きの肌着は、まず年末に子会社が運営する兵庫県尼崎市のスポーツクラブに導入。外部企業への販売も検討する。

(2016.1.6 日本経済)

## ABCマート、スポーツ特化の新型店、ランニング靴やウエア、五輪に向け需要取り込む

靴の「ABCマート」を運営するエービーシー・マートは今春、スポーツ特化型の店舗を開く。紳士靴などを置かず、ランニングやフィットネスに適したシューズに絞る。従来少なかったウエアを扱い、自社開発の中敷きを販売する。2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、一般の人の運動の機運が高まるとみて店づくりも変える。

東京都や大阪府など大都市圏に今春、3~4店まとめて出店する。野球など競技用のシューズは置かず、一般の人がランニング、ウォーキング、ヨガ、フィットネスをするときの商品をそろえる。

(2016.1.13 日経産業)

## 要介護前の高齢者支援、ダスキン、和光市と新拠点、食事や健康、相談・講座

家事代行サービス大手のダスキンは12日、埼玉県和光市と連携し、介護保険の適用となる前の高齢者を対象にした生活支援拠点を同市内に開設した。日常の食事や健康に関する相談に応じるほか、掃除や食事づくりの代行など生活支援サービスを総合的に提供する。地域ぐるみで高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の拠点と位置づけ、全国展開も視野に入れる。開設したのは「わこう暮らしの生き生きサービスプラザ」。介護保険の適用対象にはならないものの、病気や体力の低下によって何らかの生活支援が必要な高齢者を主な対象と位置づけ、ダスキンのスタッフが常駐し様々な相談に応じる。

(2016.1.13 日本経済)

## 大型団地を福祉拠点に、住宅10年計画で国交省、高齢化、地域と連携

国土交通省が2016~25年度までの10年間の住宅政策の方向性を示す「住生活基本計画」の原案が18日、明らかになった。独立行政法人の都市再生機構(UR)が全国に抱える大型団地のうち150ヶ所程度に介護サービス施設などを誘致し、地域の医療福祉拠点に転用するのが柱だ。不動産市場の活性化に向け、中古住宅の流通規模を25年に8兆円(13年は4兆円)へ倍増する目標。

国交省は住生活基本法にもとづき、同基本計画をおおむね5年に1度見直している。見直し案を22日開催する有識者会議に提示した上で個別分野の詰めを進め、3月にも新計画を閣議決定する。

(2016.1.19 日本経済)

## クラブツーリズム、三鷹に2店目のフィットネス

クラブツーリズムは東京都三鷹市内で2月1日、フィットネスクラブを開設する。身体を動かす空間に加えてラウンジを併設し、休日などにくつろげる空間を目指す。「アクティブシニア」と呼ぶ中高年層の利用を見込む。

「ライフスタイルクラブテラス三鷹」はJR三鷹駅から徒歩3分の場所に開く。ヨガをはじめ、軽めの運動を利用者に提案する。ラウンジには公衆無線LAN「Wi-Fi」も完備し、趣味や旅行に関する無料セミナーも開く。

(2016.1.19 日本経済)

## ダスキン、要介護前の高齢者支援

家事代行サービス大手のダスキンは12日、埼玉県和光市と連携し、介護保険の適用となる前の高齢者を対象にした生活支援拠点を同市内に開設した。日常の食事や健康に関する相談に応じるほか、掃除や食事づくりの代行など生活支援サービスを総合的に提供する。地域ぐるみで高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の拠点と位置づけ、全国展開も視野に入れる。開設したのは「わこう暮らしの生き生きサービスプラザ」。介護保険の適用対象にはならないものの、病気や体力の低下によって何らかの生活支援が必要な高齢者を主な対象と位置づけ、ダスキンのスタッフが常駐し様々な相談に応じる。

(2016.1.13 日本経済)

## 米フィットビットがスマートウォッチ、活動量計の雄が参入、心拍数や睡眠記録

活動量計メーカーの米フィットビットは、スマートウォッチ(腕時計型ウェアラブル端末)市場に参入する。フィットネスに特化したスマートウォッチ「ブレイズ(Blaze)」をこのほど発表。同社は主力の活動量計で高い市場シェアを誇っており、普及が本格化し始めたスマートウォッチでも需要の開拓を狙う。ブレイズはカラー表示のタッチスクリーンを採用した。トレーニングプログラムの表示や運動中の心拍数の計測ができるほか、自転車やランニングなど特定のスポーツの場合は活動中には自動で認識して記録する。従来製品と同様に歩行数や消費カロリー、睡眠時間なども測定できる。

(2016.1.15 日経産業)

## カラオケで介護予防—自治体が採用、集客の目玉に

カラオケの歌と音楽に合わせて簡単な運動を楽しむ介護予防教室がにぎわっている。自治体が専用のカラオケ機器を導入し、相次いで事業化している。楽しみながら続けられるため、介護予防や健康維持に加え、自宅にこもりがちな高齢者が外出するきっかけ、仲間づくりにつながると期待は大きい。

カラオケには集客力があり、地域のコミュニティを生む効果があることから、介護予防教室の目玉として取り入れるようになった。茨城県つくば市、福井県坂井市、福岡市などでも事業が実施されている。

全国カラオケ事業者協会の推計によると、国内のカラオケ参加人口は約4,700万人で、団塊世代の割合が高いという。今後も自治体によるカラオケを活用した介護予防教室は増えそうだ。

(2016.1.20 日本経済)

## 「ライザップ」米国進出、2月にサンタモニカ

健康コーポレーションは26日、主力のフィットネスクラブ「ライザップ」を2月に米国で出店すると発表した。出店先は米カリフォルニア州サンタモニカ。健康志向の強い米国人のダイエット需要を取り込む。ライザップは海外では昨年6月に香港に進出していた。

(2016.1.26 日本経済)